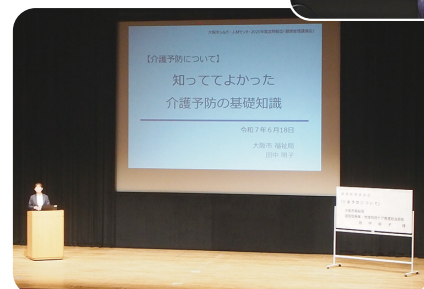
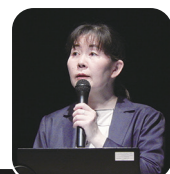


2025年度 定時総会の開催報告



局高齢者施策部長及び大谷省吾高齢福祉課長の紹介のあと、正会員の眞壁健理事が議長に選出され議案審議に入りました。提出された議案は「2024年度事業報告」「2024年度決算報告及び監査報告」の2議案で、いずれも原案どおり可決承認され、理事会の承認事項の「2025年度事業計画」「2025年度収支予算」の2点について報告されました。第1部の定時総会では、活発な質疑が行われるなど盛会のうちに閉会しました。

引き続き、第2部の健康管理講演会を開催し、介護予防をテーマに、「知ってよかった介護予防の基礎知識」と題して、大阪市福祉局認知症施策・地域包括ケア推進担当部長の田中明子様からご講演いただきました。「介護予防ってなに?」、「市民の健康の状況」、「活動あれこれ」などを話題に、わかりやすくご説明をいただき、大変有意義な講演となりました。



理事長あいさつ要旨

皆さん、こんにちは、理事長の諫山でございます。梅雨のさなかとは思えないような天候、暑さが続いておりますが、会員の皆様には、2025年度定時総会に多数お運びをいただき誠にありがとうございます。

また、多くの会員の方に、定時総会の運営に携わっていただいておりますことを併せて感謝申し上げます。

本日はご来賓として、公務ご多忙の中、大阪市福祉局長の向井様はじめ幹部の皆様にご臨席を賜っております。大阪市福祉局の皆様には、平素から当センターの事業に対し、多大なご支援、ご指導をいただいておりますことに、この場をお借りいたしまして厚くお礼を申し上げます。

ご承知のように、本年は戦後80年の節目の年であります。昨今の厳しい国際情勢を見るにつけ、平和であり続けることの大切さを再認識するところでございますが、終戦後の復興事業にまで、そのルーツを遡ることができるシルバー人材センター事業は、その後の社会状況の変化の中で様々な議論が積み重ねられ、また、法整備も行われ、1980年には全国高齢者事業団連絡会として創設されたものでございます。こうした中、当センターは戦後39年を経た1984年に事業を開始し、今年で41年目を迎えたところでございます。

この間、関係者の皆様の温かいご支援、発注者様のお力添えをいただき、そして会員の皆様方には、日頃から親切、丁寧をモットーに真摯に就業に励まれ、センター事業の推進にご尽力をいただいていたところで

あり、心から敬意を表し、また、深く感謝を申し上げます。

さて、「会員の拡大の取組み」につきましては、出張入会説明会や一部の区役所自立相談支援窓口との連携、ハローワークのシニア

セミナーでの普及啓発などの取組みを行い、会員数は、前年度に比べ、率にして2.3%増の7,972人となりました。会員の皆様にも、ご親族や知人の方にお声がけいただくなど、少しでも会員の輪が広がることに期待させていただくものでございます。

「就業の場の確保の取組み」につきましては、就業開拓コーディネーターを各事務所に配置をし、子育て、サービス業分野などを対象とした企業訪問や、過去に取り引きのあった企業様や既にご契約をいただいている企業様等に、就業人員を増やしていただくことをお願いをするなどの取組みを行ってまいりました。契約金額につきましては、労働派遣事業を含め約26億7,979万円となり、新型コロナウイルス感染症流行前の水準まで回復したところでございます。

2025年度も引き続き、会員の拡大と就業機会の確保の取組みを積極的に進めてまいります。

また、「スマートフォン講習会」の開催による会員



理事長 諫山 保次郎

の皆様のデジタル対応能力の向上支援や、当センターのシステムの一新による事務の効率化など、ICT（情報通信）技術のさらなる活用も図ってまいります。

こうしたシルバー人材センターの活動を進めていくうえで、何より大切なことは「安全就業の確保」であります。ことに、本日も30度を超える暑さとなっておりますが、これから夏場にかけては、熱中症の予防対策が大変重要でございます。屋外で就業される会員の皆様も多くおられますが、就業時はもとより、就業途上、また日常生活のなかにおかれましても、熱中症予防には十分ご留意いただきますようお願い申し上げます。また、熱中症予防だけでなく、安全就業対策につきましても、引き続き強力に取り組んでまいります。

先日、2024年の出生数が70万人を下回ったとの報道がございました。想定を上回るスピードで少子高齢化が進展しており、人手不足の深刻化や介護費用のさらなる増大などが懸念されております。

こうした状況のもと、シルバー人材センターは、これらの社会的課題の解決に資することのできる存在の一つとして、これまで以上に重要性が増してきていると考えております。

そうした意味からも、会員の皆様方と役職員が一丸となり、事業の推進に努め、活力ある地域社会の構築に寄与していくことが大切ですので、ご参会の皆様をはじめ会員の皆様方のなお一層のご協力をお願いする次第でございます。

本日の総会では、議案として2024年度事業報告や決算報告、報告事項として2025年度事業計画、収支予算についてご審議いただくこととなっております。

また、総会に引き続き、健康管理講演会として「介護予防について」をテーマに、大阪市福祉局認知症施策・地域包括ケア推進担当部長の田中様からご講演をいただきます。日頃から健康管理にはご留意いただいていることと存じますが、介護予防についての知識と意識をより深めていただければ幸いです。

2024年度事業実績報告

●会員数（2025年3月末）

7,972人（対前年+177人、+2.3%）
（男：4,901人、女：3,071人）

●就業実人員（派遣含む）

5,517人（対前年+49人、+0.9%）

●就業率

69.2%（対前年-0.9ポイント）

●契約件数（派遣含む）

43,432件（対前年-42件）

内訳 { 公共 1,594件（+14件）
民間 41,838件（-56件）

●契約金額（派遣含む）

2,679,785千円（対前年+95,451千円）

内訳 { 公共 497,907千円（+37,769千円）
民間 2,181,878千円（+57,682千円）

2025年度収支予算

（単位：千円）

項 目		2025年度予算額
経常収益	受 託 事 業 収 益	2,037,325
	労働者派遣事業等受託収益	93,895
	有料職業紹介事業受託収益	270
	介 護 保 険 事 業 収 益	19,560
	受 取 会 費	9,689
	受 取 補 助 金 等	97,400
	そ の 他 収 益	52
	経 常 収 益 計	2,258,191
経常費用	事 業 費	2,188,400
	管 理 費	69,791
	経 常 費 用 計	2,258,191
当 期 経 常 増 減 額		0

2025年度事業計画

1. 就業開拓提供事業
2. 普及啓発事業
3. 研修・講習会事業
4. 相談事業
5. 安全・適正就業推進事業
6. 訪問介護事業
7. 独自事業
8. 職業紹介事業
9. 労働者派遣事業
10. 会員拡大
11. 組織体制の充実強化
12. 財政基盤の拡充